

客土注入マット工法・厚層基材吹付工法比較表

工 種		客 土 注 入 マ ッ ト 工 法				厚 層 基 材 吹 付 工 法	
工 法		バイオ・オーガニック工法					
概 要		特殊袋状マットをアンカーピンを用いて布設し、用土、種子、肥料、土壌改良材に水を加え、ミキシングタンクで泥状化したものを注入ポンプを使用して注入する工法。				モルタル吹付機を用いて、土壌改良材に種子、化成肥料、粘着剤又は浸食防止剤を混合し、法面に厚さ3～10cmに吹き付ける工法。	
使用 資材	基 盤 材	用土、有機質系土壌改良材（バーク堆肥＋ピートモスなど）				有機質系土壌改良材（バーク堆肥＋ピートモスなど）	
	肥 料	有機質系肥料（速効性・緩効性・遅効性） 有機物が微生物に分解されて無機質となって植物に吸収されるため肥効が長持ちする。				高度化成肥料、りん酸肥料（速効性） 化成肥料は雨などの水分によって溶質するため、速効性があるが、長持ちしないため、追肥が必要。	
	浸食防止材 又は粘着剤	な し				高分子系樹脂、セメント	
	植 物	マメ科木本植物（先駆種）主体のほか生分解性ポット苗、埋土種子採取などの植物導入方法により、地域自生植物の緑化が可能				マメ科木本植物（先駆種）主体、草本種主体	
補 助 材 料		特殊袋状マット				ラス、むしろ	
摘要 条件	規 格	BO-30	BO-50	BO-70	BO-100	3～5cm	5cm以上
	地 質	土壌硬度25mm以下の普通土	土壌硬度25～35mmの硬質土、強風化岩	土壌硬度30～40mmの強風化岩、軟岩	土壌硬度35mm以上の軟岩、硬岩	土壌硬度粘性土23mm、砂質土27mm以上の土砂、岩片・礫の多い土砂、節理の多い軟岩・硬質土	節理の少ない軟岩、硬岩
	勾 配	1:0.8より緩い	1:0.8より緩い	1:0.5より緩い	1:0.3より緩い	1:0.5～1.0	
基 盤 安 定 性		施工直後より袋状マットにより植生基盤が安定し、植生基盤の浸食・滑落等を全く受けない。				植生基盤に混合された接合材だけでは雨滴などの浸食防止に対応できず、法面に導入した植物によって被覆されることにより、植生基盤が安定してくるため、植物が成長するまで表層は不安定。また、長期間経過すると植生基盤材が衰退する。	
基 盤 耐 久 性		半永久的				高分子系樹脂：3～5年、セメント：5～8年	
発 芽 ・ 生 育 性		発芽初期生育は遅いが、導入種の生育持続性が非常に高い。特に木本類の導入に効果があり、長期的な緑化が望める。				高分子系：発芽・生育が早い。外来草本類主体のため木本類はあまり定着しない。導入種の生育持続性は普通。 セメント系：発芽・生育性が遅く、発芽不良になりやすい。導入種の生育持続性は高いが、好酸性植物には不適。	
施 工 性		降雨時、冬期間も施工が可能。				降雨時、冬期間の施工は不可。	